

# かがやき 1・2・3組 国語科学習指導案

## 1 単元名 よんで つたえよう

「ぼくのからだ2」(Aグループ) 「かくしゆうどうぐ」(Bグループ)  
「やさいサラダのつくりかた」 「ホットケーキのつくりかた」(Cグループ)

## 2 指導の考え方

### 子どもの実態

かがやき1・2・3組の子どもたちは、1年生～5年生の児童11名で構成されている。子ども達の読むことの実態は、ひらがなを教語読み始めた子ども、ひらがながほぼ読むことができ、漢字交じり文の簡単な文を読んで挿絵とむすぶことができる子ども、簡単な漢字を読むことができ、漢字交じり文の簡単な文を読んで挿絵を手がかりに簡単な文を読み取ることができる子ども等、様々である。書くことの実態は、ひらがなの文字を並べて単語をつくることができる子ども、簡単なひらがなの文字のなぞり書きができる子ども、経験したことを2音節や3音節の語句をつなげて書くことができる子ども、経験して印象に残ったことを二～三語文を羅列して書いていたり気持ちを書いたりすることができる子ども等、様々である。

そこで、児童の実態に応じて、A・B・Cの3グループに分けて学習を進めてきた。Aグループは、語彙獲得期の段階にある児童で、9月に「ぼくの中から1」を読み、1～2文字の体の名称を読み書きできるようになってきた。Bグループは、簡単な二～三語文の読み書きの段階にある児童で、9月に「おみせやさん」を読み、「ここは～です。～があります」とお店の紹介ができるようになってきた。Cグループは、簡単な文章を順に読み書きする段階にある児童で、9月に「ちようりどうぐ」を読み、「ここは～です。～するときにかいいます」と調理道具の説明ができるようになってきた。

### 教材の特質

本単元は、「よんでつたえよう」というもので、自作教材の「ぼくの中から2」と「かくしゆうどうぐ」と「やさいサラダのつくりかた」と「ホットケーキのつくりかた」の4種類の教材本をそれぞれ読んで、各グループ内で読み取ったことを伝え合うものである。それぞれの教材本は、子どもの読みの実態に合わせて、生活の中で必要とされることばを取り上げて作成した。

「ぼくの中から2」は、Aグループで学習する。「ぼくの中からだをしようかいいます。」という文に始まって、「～です。」という文型で、「あし」「くち」「はな」「あたま」「おなか」を説明する教材文である。「からだ」の名称は、子どもたちにとって身近であり、1～3音節の語句である。さらに、生活の中で必要度が高いことばであると同時に、その場で実物と絵と文字とを見て、繰り返し発音して学習できる。そのため、語彙獲得期の段階にあるAグループの児童にとって、実物と絵と文字をつないで、ひらがなのことばを捉えることを促すことができる教材と考える。

「かくしゆうどうぐ」は、Bグループで学習する。「どんなどうぐですか。」と「なにをするのですか。」という問いの文に対して、「これは～です。」「～で～をします。」という文型で、答の文が繰り返される教材である。「かくしゆうどうぐ」は、学校生活の中で毎日使っており、ことばを耳にすることが多い。また、「学習道具で～する。」と述部との関係をはっきりさせた文で説明することができる。そのため、二～三語文の読み書きの段階にあるBグループの児童にとって、文を読んだり、学習した文型を使って他の学習道具について説明したりすることを、促すことができる教材と考える。

「やさいサラダのつくりかた」と「ホットケーキのつくりかた」は、Cグループで学習する。「どんなざいりやうとどうぐをじゆんびするのでしょうか。」と「どのようにしてつくるのでしょうか。」という問いの文に対して、「ざいりやうは～です。どうぐは～です。」「つくりかたです。」「はじめに～。つぎに～。さいごに～。」という文型で、答えが順にまられている教材である。「やさいサラダ」や「ホットケーキ」は、家庭や学校で作ったことがあるもので、材料や道具や作り方について、聞いた話したりしたことがあるものである。また、順序を表す言葉を使って作り方の手順を整理して説明することができる。そのため、簡単な文章を順に読み書きする段階にあるCグループの児童にとって、文章を順に整理して読んだり、学習した文型を使って似たようなレシピの料理について説明したりすることを、促すことができる教材と考える。

これらのことから、次の3点のよさがあると考ええる。

- ① 教材文を子どもの実態に応じて作成することで、子どもが言葉の意味や説明文の構成を捉えやすく意味理解がしやすい。
- ② 身近なことを題材とした説明文であるので、子どもが興味を持って読み進めることができる。
- ③ 読み取ったことを、日常生活の中で生かすことができやすい。

指導にあたって

指導にあたっては、児童の実態に応じて、A・B・Cの3グループに分けて、「ぼくのからだ2」と「がくしゆうどうぐ」と「やさいサラダのつくりかた」と「ホットケーキのつくりかた」教材をそれぞれ読み取らせていく。

読むことの楽しさや価値を実感させることができるように、以下のような授業づくりをする。

Aグループは、導入段階では、教材文を読んで、身体各部位の名称に触れさせる。音声カードを使ったリ教師がモデル演示したりして、身体部位の名称を聞き分けさせて、音声と挿絵と口形の絵の文字を見て、身体各部位の名称を言語模倣させる。

展開段階では、次の五つの活動をし、身体各部位の名称と挿絵と文字をつながせる。①挿絵と同じ自分の体の部位を指さして名称を言う。②聞き分けと口形・口声模倣をする。③挿絵とつないで、文字カードを読む。④体の部位の名称を書く。⑤体の部位の挿絵をはり名称を表す。

発展段階では、音声カードの音声を聞いて、絵や文字カードをつないだり、学習プリントで文字を書いたりする等して、身体各部位の複数の部位と挿絵と文字をつながせる。そして、自分の体の紹介をしていく。

Bグループは、導入段階では、全文を読んで段落構成をつかませる。音読を繰り返しして、場面を表す言葉を視写して、学習計画表に段落を順に貼ったり段落の名前をつけてたりしていく。

展開段階では、次の五つの活動をし、読みのめあてをつかませて、めあてにそって答えの文を繰り返し読み進めさせていく。①問いや答えを確認しながら繰り返し音読する。②文カードで全文を構成する。③一文ずつ読み取る。④問いや答えの文を抜き書く。⑤問いや答えをまとめて。発展段階では、読んだことを生活に生かしていく。ここでは、学習した文型を使って、教材文で説明されていない道具について、挿絵をヒントに、説明文を自分で書かせていく。

Cグループは、導入段階では、全文を読んで段落構成をつかませる。音読を繰り返しして、場面を表す言葉を視写して、学習計画表に段落を順に貼ったり段落の名前をつけてたり、学習内容カードを順に貼ったりしていく。

展開段階では、次の5つの活動をし、読みのめあてをつかませて、めあてにそって答えの文を問い1に対することえと問い2に対することえに分けて読み進めさせていく。①問いや答えを確認しながら繰り返し音読する。②文カードで全文を構成する。③挿絵と文をつないで一文ずつ読み取る。④問いや答えの文を抜き書く。⑤問いや答えをまとめて。(答え2の読み取りでは、①の活動の後に順序を表す言葉を書く活動を入れる。)

発展段階では、読んだことを生活に生かしていく。ここでは、学習した文型を使って、他のサラダやお好み焼きについて、挿絵をヒントに、説明文を自分で書かせていく。

**☆焦点化**  
子どもの実態に応じた教材文（語彙・文型を生活に必要な視点から選択する。）  
ねらいを絞った書く活動と学習プリント

**☆可視化**  
読み取りのための挿絵の活用  
大切な言葉に着目させる抜き書きなど  
正しい発語のための口形の絵

**☆共有化**  
学習したことを発表しあう  
ことで、お互いの表現の手法を認め合い、読んで使うことができるようになった  
達成感を味わわせること

### 3 目標

- 各自の説明文から、教材文の問いの文と答えの文を読み取ることができるようにする。
- 読み取ったことを友達に伝えることができるようにする。

#### 各グループの目標

Aグループ…実物と挿絵と文字をつなぎ、正しく発語して身体各部位の名称を紹介することができるようにする。

Bグループ…問いと答えを順に読みとり、学習道具の紹介をすることができるようにする。

Cグループ…説明文の問いと答えの構成を捉えて順に読みとり、やさいサラダやホットケーキの作り方を説明することができるようにする。

### 4 学習計画（Aグループ7時間、Bグループ7時間、Cグループ7時間）

各グループの学習計画は、別紙一覧表参照

# かがやき 1・2・3組 Aグループ 本時指導案

5 本時 (5/7)  
公開授業① かがやき 1組教室にて

## 6 本時の目標

- 口形・口声模倣して発語したり書いたりして体の名称 (あたま・おなか) と音声や挿絵や文字とつながることができるようにする。
- 体の名称 (あたま・おなか) を音声と挿絵や文字で、自分なりに表現して伝えることができるようにする。

### 個別の目標

- A児：自分の体と挿絵と文字をつないで、「あたま」と発語したり、線を意識してなぞり書きしたりして伝えることができるようにする。
- B児：自分の体と挿絵と文字をつないで、「あたま」「おなか」と発語したり、携帯型意思伝達装置等で表現したりして伝えることができるようにする。
- C児・D児：自分の体と挿絵と文字をつないで、「あたま」「おなか」と口形を意識してはつきりと発語したり、書いたりして伝えることができるようにする。

## 7 本時指導の考え方

7 前時までに子どもたちは、「ぼくのからだ2」の本に出会い、1音節の体の名称 (て・め・は)、2音節の体の名称 (みみ・あし・くち・はな) を友だちに紹介してきた。そこで本時は、A児には「あたま」を、B, C, D児には「あたま」と「おなか」の3音節の体の名称をとりあげる。

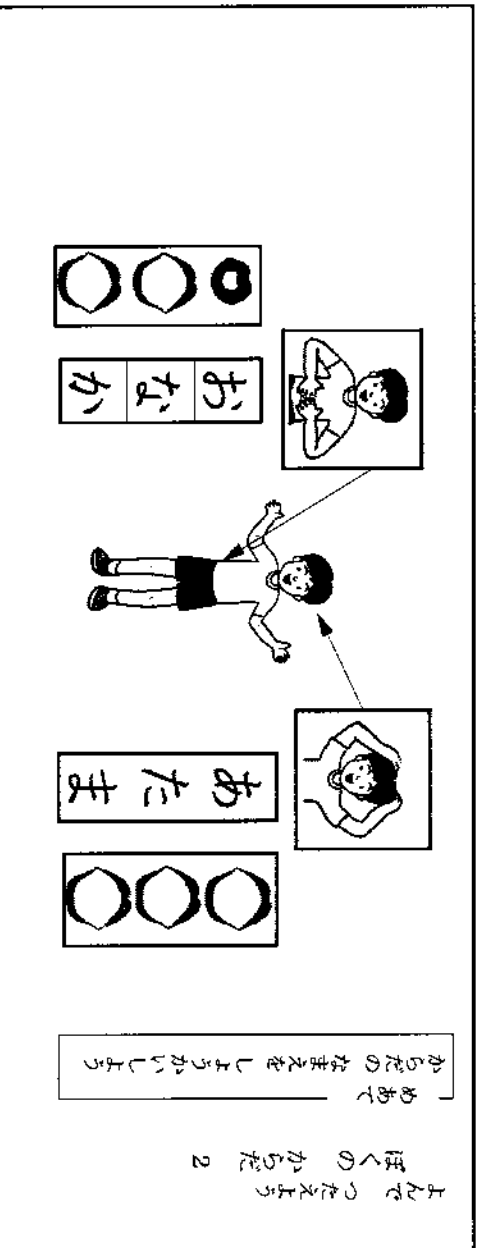
導入では、まず本時で学習する各自の教材文の挿絵を見て、同じ自分の体の部位を指して名称を言ったり、音だけの音声カードで名称を聞き分けたりして、本時の学習のめあてを確認するようにする。展開では、個別に以下の四つのステップを繰り返すことで、音声、体の部位、挿絵、文字とをつないで体の名称 (あたま・おなか) を自分なりに表現できるようにしていきたい。

教師と一緒に一対一で発声したり、挿絵と口形の絵のついた音声カードの音を繰り返し聞いて発声したりすることで、3音節の体の名称を識別させ三つの文字で一つの名称を表すことを意識づけていく。そのために、挿絵に対応する文字カードを、1文字ずつ三つに区切った箱に入れたり、単語カードを区切りのない箱に入れたりして、繰り返し文字カードを読ませる。



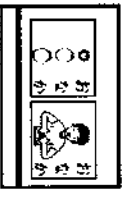
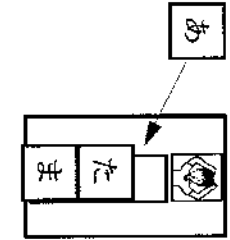
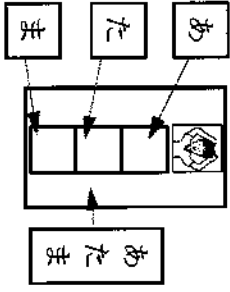
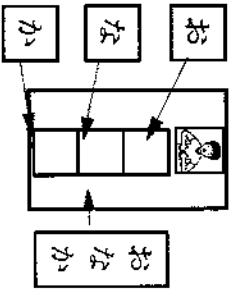
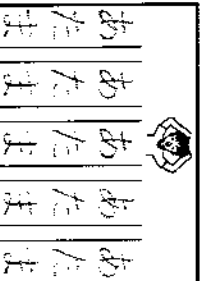
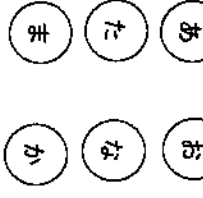
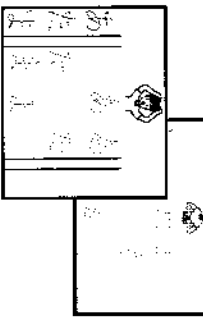
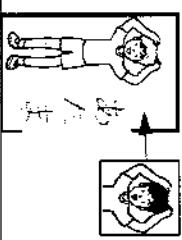
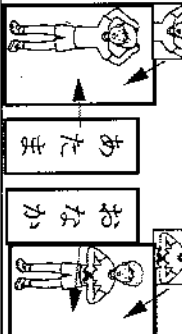
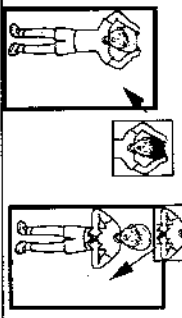
② 子どもの実態に応じて体の名称を書かせて、挿絵と文字をつないでいく。そのために携帯型意思伝達装置、なぞり書き中心の学習プリント、なぞり書きから視写へと段階を踏んだ学習プリントを準備する。また、1文字ずつ抜いた学習プリントを準備することで、三つの文字で一つの名称になることを意識させていきたい。

④ 「あたま」「おしり」の挿絵を貼って線で結ばせ、名称を携帯型意思伝達装置やなぞり書き、視写など、各自の方法で表現させることで、挿絵と音声と文字をつないでいく。最後にまとめる段階では、友達に、自分の体と挿絵や文字などを用いて、自発語で紹介させて学習のまとめをし、満足感や充実感を味わわせていく。

## 8 板書計画



9 本時の展開

学習活動と内容		個の活動を促す支援
<p>1 本時学習の場面とめあてを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時学習する体の部位を指さして確認すること</li> <li>○ めあてを確認して活動の見通しをもつこと</li> </ul> <p>からだの なまえを しようかいしよう。</p>		<p>1 学習のめあてと、活動の見通しをもたせる支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 挿絵の提示</li> <li>○ 音声カードの聞き分け</li> </ul>
<p>2 個別に、名称の聞き分けや口形・口声模倣や文字並べや文字の練習をする。</p> <p>A児</p> <p>B児</p> <p>C児・D児</p> <p>(1) 自分の体や挿絵を指しながら、音を聞き分けて、口形・口声模倣をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 口形に気をつけて、正しく発音すること</li> </ul>    <p>(2) 挿絵と対応する文字カードを読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 挿絵と文字をつないでよむこと</li> </ul>    <p>(3) 発話しながら、なぞり書きをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字の形をとらえること</li> </ul>  <p>(3) 携帯型意思伝達装置等で文字を順に打つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字を並べて表すこと</li> </ul>  <p>(3) 発話しながら、なぞり書きや視写をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体の名称を書くこと</li> </ul>  <p>(4) 「あたま」の部位の挿絵を貼り、体の部位と線でつないだり名称をなぞって書いたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字と挿絵と音声をつなぐこと</li> </ul>  <p>(4) 「あたま」「おなか」の部位の挿絵と単語カードを貼る。また、携帯型意思伝達装置等で名称を表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字と挿絵と音声をつなぐこと</li> </ul>  <p>(4) 「あたま」「おなか」の部位の挿絵を貼り、体の部位と線でつないだり名称を書いたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字と挿絵と音声をつなぐこと</li> </ul> 		<p>2 個の活動を促す支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 口形口声模倣の支援</li> <li>・教師のモデル</li> <li>・口形の絵の付いた音声カードの提示</li> </ul> <p>○ 文字を読ませる個別の声かけ等</p> <p>A児：「あ」に着目させる声かけ</p> <p>B児：持ちやすい文字カードのEI夫</p> <p>C児・D児：「あたま」「おなか」三つの音節でなりたっていることに着目させる声かけ</p> <p>○ 個別の学習プリントや声かけ</p> <p>A児：なぞり書き中心の学習プリントと線を意識させる声かけ</p> <p>B児：書字動作の代替として、携帯型意思伝達装置等を使用</p> <p>C児・D児：なぞり書きや視写を段階的にできる学習プリント、書き順に着目させる声かけ</p> <p>3 学習のまとめをする支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 個別の目標に応じた賞賛</li> <li>○ よい口形に注目した賞賛</li> </ul>
<p>3 本時で学習した体の部位を友だちに紹介し次時の活動について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の体や挿絵を指さしながら口形に気をつけて発表すること</li> <li>○ 正しい口形で発音できた達成感を味わうこと</li> </ul>		



9 本時の展開

学習活動と内容

個の活動を促す支援

1 本時学習の段落と学習活動を学習計画表で確認する。

1 学習のめあてと、

- 本時の学習する段落を確認し、活動の見通しをもつこと
- めあてと問いを確認すること

活動の見通しをもたせる支援

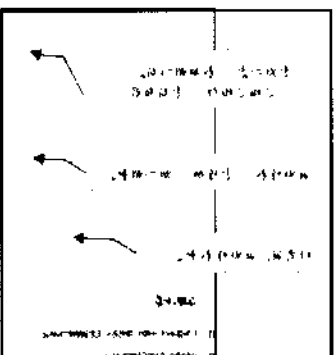
はさみの せつめいを よんで、こたえを みつけよう。

- 学習計画表と手順表の提示
- 問いの文の提示

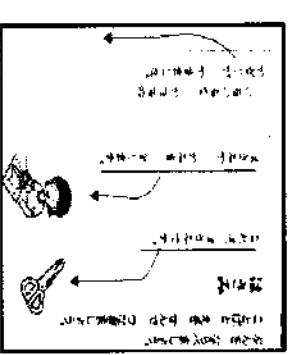
2 「はさみ」の段落を読み取り、問いに対する答えをまとめる。

2 個の活動を促す支援

- (1) 音読をする。
  - 答えの文を意識して読むこと
- (2) 文カードで全文を構成する。
  - 繰り返し文カードを読ませながら、道具と使い方の文に着目すること

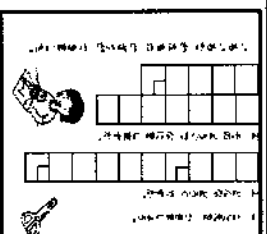


- (3) 挿絵とことばを線をひいてつなぐ。
  - ことばの意味を捉えて、文の内容を読み取ること



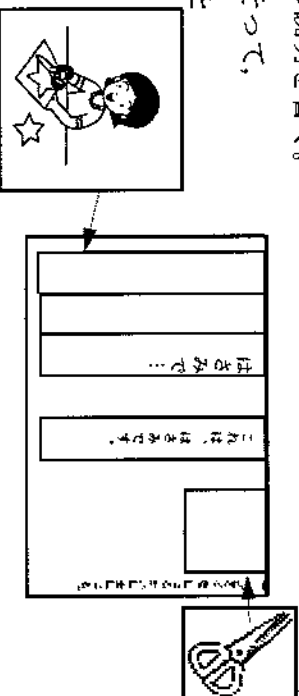
(4) ①②に対する答えの文を抜き書きする。

- 読みのめあてにそって、答えの文を意識すること



(5) 自分で学習道具の説明を書く。

- 読みのめあてにそって、答えをまとめること



3 各自の読み取ったことを発表し、次時の活動について話し合う。

- 「はさみ」のことを自分なりに表現すること
- 教材文を読み取って説明することができた達成感を味わうこと

3 学習のまとめをする支援

- 身振り表現も促す。
- 表現のよさの賞賛

# かがやき 1・2・3組Cグループ本時指導案

5 本時 (4/7) 公開授業① かがやき 2組教室にて

6 本時の目標  
 ○ 野菜サラダやホットケーキの説明文から、問い②に対する答え (作り方) を読み取ることができようとする。  
 ○ 書きままとめたことをもとに、友達に野菜サラダやホットケーキの作り方の説明をすることができるようにする。

## 個別の目標

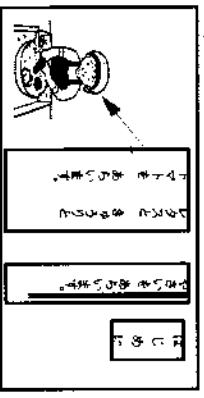
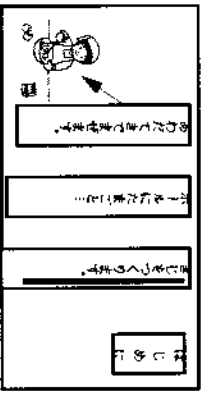
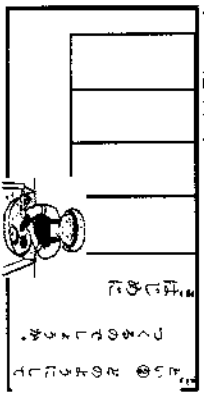
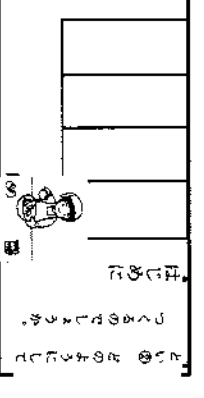
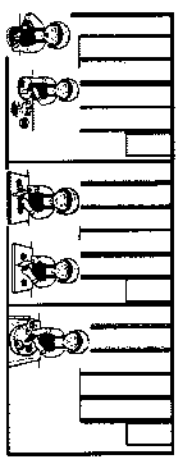
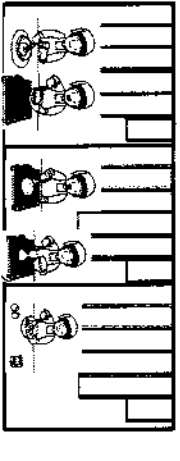
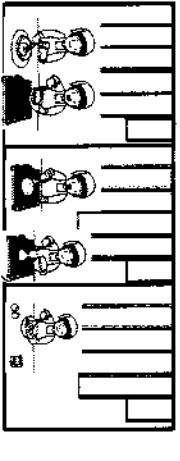
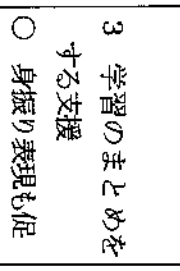
G児・H児・I児…野菜サラダの作り方を教材文にそって、順にまとめることができるようにする。  
 J児・K児…ホットケーキの作り方を教材文にそって、順にまとめることができるようにする。

7 本時指導の考え方  
 前時までに子どもたちは、「やさしいサラダのつくりかた」や「ホットケーキのつくりかた」の本に出会い、二つの問い①の答えの「材料」「道具」について読んできた。本時は、問い②の「サラダのつくりかた」や「ホットケーキのつくりかた」の答えの文を読み取って、ノートに自分なりの言葉で表現することや想像をさせ、本時では「つくり方」をまとめるという導入では、まず学習計画で学習した段落の確認をさせ、本時の学習の見通しをもたせておく。学習計画では、まず確認する。さらに、活動内容も確認をさせ、本時の学習の見通しを意図させるようにする。また、読みとばしのある児童には、文を指でさし読み取りノートとレジビノート作りに取り組ませる。次の四つとして、学習計画表に従って個別に読み取りと読み取りノートの答えを自分で見つけて、自分なりにまとめることができるようになる。  
 ① 順序の順序を表す言葉の部分に線を引いて、読み取りノートに「はじめに」「つぎに」「さいごに」の順序を表す言葉を書くことで、作り方の順序を意識させて読み取ることができるようになる。  
 ② 教材文を読みながら、文カードを順に並べて全文を構成し、挿絵と線をつなぐことで、文の内容を確認取ることができるようになる。文の並べ間違いがあつた場合は、教材文を読み直したために線を引かせる。線を引かせる時は、1児には定規ので、読み取りノートの補助めをする。そつて答えの文を意識するようにする。  
 ③ 教材文から終わつたら読み直さることで、正確に抜き書きの順序を意識させるようにする。整理して野菜サラダやホットケーキの作り方を書くことができれば、順序また、表す言葉を使って順に説明することができるようにする。「はじめに」「つぎに」「さいごに」と、順序を表す言葉を使う順に説明することができるようにする。まとめの段階では、各自が読み取ったことを挿絵の拡大し、たもてをし、満足感や充実感を味わいたい。そのため、読み取ったことを発表するようにする。

## 8 板書計画

The board plan shows a large board with a grid of boxes. The top row contains the title '野菜サラダのつくりかた' and 'ホットケーキのつくりかた'. Below this, there are several boxes with text and illustrations. The text includes 'はじめに', 'つぎに', and 'さいごに'. There are also small illustrations of children and food. The board is divided into sections for 'はじめに' (beginning), 'つぎに' (next), and 'さいごに' (end). The bottom part of the board has a large box with text and a small illustration of a child.

9 本時の展開

学習活動と内容	個の活動を促す支援
<p>1 本時学習の段落とめあてを学習計画表で確認する。</p> <p>○ 本時の学習する段落を確認し、活動の見通しをもつこと</p> <p>○ めあてと問いを確認すること</p> <p>やさいサラダや ホットケーキの つくりかたを よんで、 じゆんに せつめいしよう。</p>	<p>1 学習のめあてと、活動の見通しをもたせる支援</p> <p>○ 学習の進め方の手順表の提示</p> <p>○ 問いの文の提示</p>
<p>2 作り方の段落を読み取り、問い②に対する答えを順にまとめて書く。</p> <p>G児・H児・I児                      J児・K児</p> <p>(1) 音読をする。</p> <p>○ 順序を表す言葉に着目し、答えの文を順に読むこと</p> <p>(2) 順序を表す言葉に線を引き、読み取りノートに書く。</p> <p>○ 順序を表す言葉に着目して順に読むこと</p> <p>(3) 文カードで全文を構成し、挿絵と線でつないで一文ずつ読み、答えの文に線を引く。</p> <p>○ やさいサラダの作り方を一文ずつ読んで、意味を読み取ること</p>	<p>2 個の活動を促す支援</p> <p>○ 3段落の音読(範読)にそって〇一斉や答えの文を強調)で、答えの文に着目させる。読み落としがある場合は、指でさささせて読ませる。</p> <p>○ 文カードを並べたところで確かめ読みをさせ、正確に並べさせる。</p> <p>○ I児は、定規の操作補助をする。</p> <p>○ 問い②を読ませ</p>
<p>(4) 問い②に対する答えの文を抜き書きする。</p> <p>○ やさいサラダの作り方が書かれている文を意識すること</p>   <p>○ ホットケーキの作り方を一文ずつ読んで、意味を読み取ること</p>  	<p>て、それに対する答えの文を確認させて、抜き書きをさせる。</p> <p>○ 読み直させることで、正確に書くようにする。</p> <p>○ 声かけによって順序を表す言葉に着目してまとめるようにする。</p>
<p>(5) 自分で読み取った作り方の説明を書く。</p> <p>○ やさいサラダの作り方について読み取った答えを順にまとめること</p>   <p>○ ホットケーキの作り方について読み取った答えを順にまとめること</p>  	<p>3 学習のまとめをする支援</p> <p>○ 身振り表現も促す。</p> <p>○ 順に整理して説明した表現のよさを賞賛する。</p>
<p>3 各自の読み取ったことを発表し、次時の活動について話し合う。</p> <p>○ 野菜サラダやホットケーキの作り方を自分なりに表現すること</p> <p>○ 教材文を読み取って説明することができた達成感を味わうこと</p>	



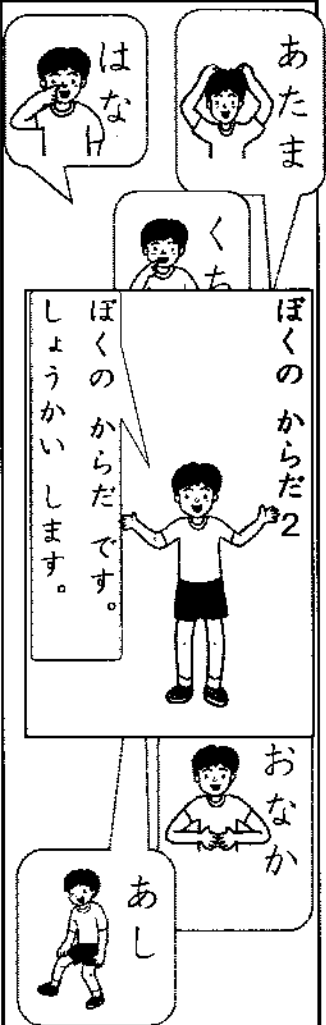
「ぼくのかからだ2」学習計画

導入段階・教材文を読んで、身体各部位の名称に触れる段階（1/7）

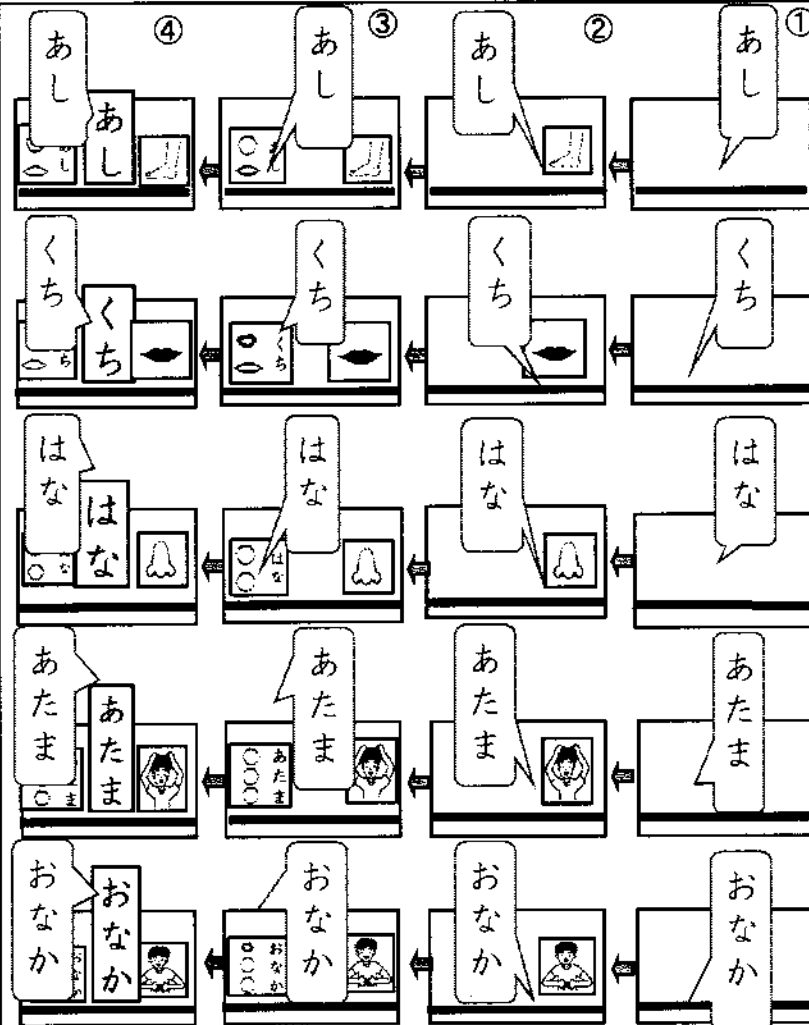
めあて

身体部位の名称を聞き分けて、音声と挿絵と口形の絵と文字を見て、身体各部位の名称を言語模倣する。

- 挿絵（身体絵）を見て、自分の体の部位を指したり、文字を読んだりする。
- 挿絵と身体各部位を指して「あし」「くち」「はな」「あたま」「おなか」と言う。
- 吹き出しの中の文を模倣して読む。
- 音を聞いて、「あし」「くち」「はな」「あたま」「おなか」を聞き分ける。

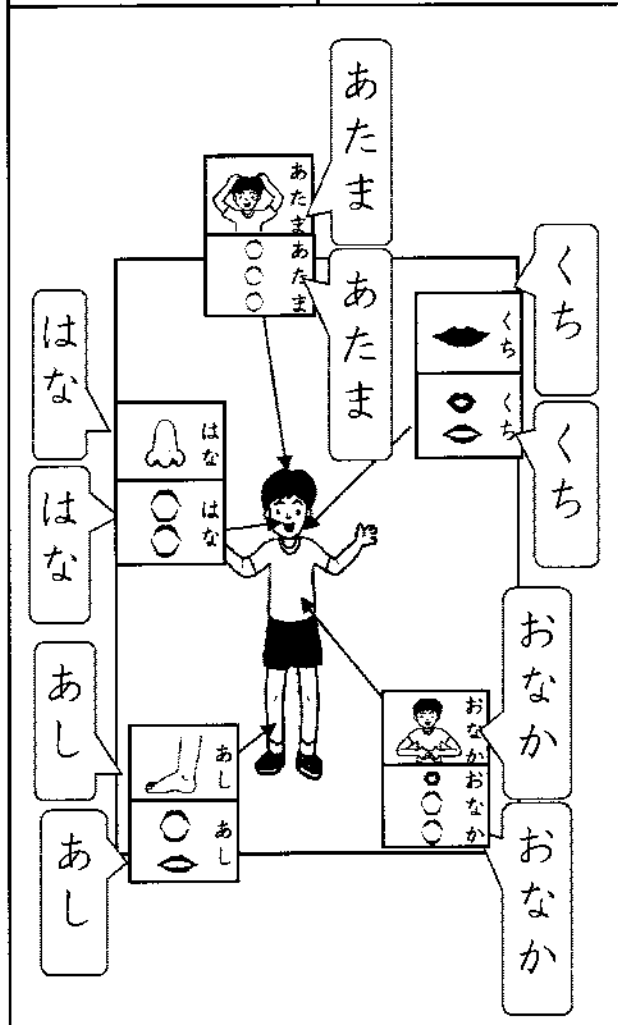


- 音声をカードで繰り返し聞いて模倣する。（聞き分け）
- 音を聞き分けながら、挿絵をつなぐ。
- 口形絵を見ながら、発語する。
- 発語しながら、絵と文字をむすぶ。



- 体の部位の名称を言う。
- 体の部位の絵カードをはり、体のどの部分かを確認しながら、名称を言う。

- 口形・口声模倣をする。
- 口形の絵を見て、口の開け方を真似しながら、体の部位の名称を言う。



展開段階・身体各部位の名称と挿絵と文字をつなぐ段階(256/7)

めあて

自分の体の各部位と挿絵と文字をむすび、名称を友達に伝える。

1 挿絵と同じ自分の体の部位を指して名詞を言う。

① 挿絵と同じ自分の体の部位を指して、名称を言う。

② 音だけの音声カードで名称を聞き分ける。

2 聞き分けと口形・口声模倣をする。  
音声カードで名称を聞きながら、口形・口声模倣をする。

3 挿絵とつないで、文字カードを読む。  
挿絵と文字を読みながら、挿絵と文字を対応させる。

4 体の部位の名称を書き、なぞり書きや、写し書きや視写をして、体の部位の名称を書く。

5 体の部位の挿絵を貼り、名称を表す。

① 挿絵をはって線で結び、名称をなぞり書きや視写などで書く。  
② 友達に指さしや自発語で友達に伝える。

展開段階・身体各部位の名称と挿絵と文字をつなぐ段階

めあて  
自分の体の各部位と挿絵と文字をむすび、名称を友達に伝える。

はな

あたま

おなか

はな

あたま

おなか

はな

あたま

おなか

はな

あたま

おなか

はな

あたま

おなか

発達段階・身体の複数の部位と挿絵と文字をつなぐ段階（7/7）

めあて  
学習した自分の各部位の名称を友達に伝える。

1 音声カードを聞き分けて、対応する挿絵と文字と口形の絵を貼る。

2 文字と挿絵を線で結ぶ

3 挿絵の名称を書く。  
なぞり書きや視写を選択して書く。

4 体の部位の絵カードや文字カードをはったり、名称を書いたりする。

「いろいろなどうぐ がくしゅうどうぐ」学習計画

全文を読んで段落構成をつかむ段階(1/7)

ねらい

全文を読み、段落の名前をつけ、段落構成をつかむ。各段落を並べ、学習計画をつくり、学習の流れをつかむ。

- 1 音読する。
  - ① 語句で区切った範読に続けて読む。
  - ② 文で区切った範読に続けて読む。
  - ③ 一斉読みをする。
  - ④ 全員で一文ずつなぎながら読む。

- 2 視写をする。
 

教材文を手がかりにワークシート上の文を読みながら、□にことばを書き込む。
- 3 ことばと絵をつなぐ。
 

□のことばと挿絵をつなぐ。

- 4 学習計画表に場面を順にはり小見出しをつける。
  - ① 段落全体を表すことばを抜き書きし、名前をつける。
  - ② 学習計画表で、学習することを確認する。

読みのめあてをつかむ段階(2/7)

ねらい

「どんなどうぐをつかっていますか。」「そのどうぐでなにをしていますか。」の2つのたずねている文に着目して、読みのめあてをもつ。

1 たずねていることを確認し、音読する。

- ① 範読を聞く。
- ② 範読にそって読む。
- ③ 一斉読みをする。
- ④ 答への文を強調して読む。

がくしゅう どうぐ  
もうすぐ あきまつりです。  
みんなであきまつりのかざりをつくっています。いろいろな  
どうぐがあります。  
どんな どうぐで  
つかっていますか。  
そのどうぐで なにをしますか。



2 文カードで全文を構成する。  
本カードを読みながら、教材文の通りに並べる。

もうすぐ  
みんなで  
いろいろな  
どんな  
その どう

がくしゅう どうぐ

もうすぐ あきまつりです。  
みんなであきまつりのかざりをつくっています。いろいろな  
どうぐがあります。  
どんな どうぐで  
つかっていますか。  
そのどうぐで なにをしますか。

3 一文ずつ読む。

- ① 文と挿絵をつなぐ。
- ② たずねている文に線を引く。


がくしゅう どうぐ

もうすぐ あきまつりです。  
みんなであきまつりのかざりをつくっています。いろいろな  
どうぐがあります。  
どんな どうぐで  
つかっていますか。  
そのどうぐで なにをしますか。

4 問いの文を抜き書きする。  
教材文とワークシートの文を読みながら、□にことばを書き込む。

○ たずねている ぶんを かきましよう。

もうすぐ あきまつりです。  
みんなであきまつりのかざりをつくっています。いろいろな  
どうぐがあります。



5 問いを書く。  
問いに線を引いて、「どんなどうぐがありますか。」「そのどうぐでなにをしますか。」と、2つのたずねていることを書く。

○ たずねていること

①

②

読みのめあてにそって読みすすめる段階(3/6/7)

ねらい  
各場面の答えの文に着目して答えをまとめ、道具の名称とその道具で何をしているのかを説明する。

- 1 たずねていることを確認し、音読する。  
 ① 範読を聞く。  
 ② 範読にそって読む。  
 ③ 一斉読みをする。  
 ④ 答えの文を強調して読む。

これは、のりです。  
 のりで かみを はります。  
 わかざりができました。

これは、べんです。  
 べんで じを かきます。  
 あきまつりの はたが できました。

- 2 文カードで全文を構成する。  
 本文を読みながら、文カードをさがし、文カードを読む。

これは、のりです。  
 のりで か  
 わかざり

これは、べん  
 べんで じを  
 あきまつりの

- 3 ① 一文ずつ読む。  
 ② 文と挿絵をつなぐ。  
 ③ 答えの文に線を引く。

① ぶんを ならべましょう。  
 ② ことばと えき を せんで つなぎましょう。  
 のり

① ぶんを ならべましょう。  
 ② ことばと えき を せんで つなぎましょう。  
 べん

- 4 ① 答えの文を抜き書きする。  
 ② 教材文とワークシートの文を読みながら、□にことばを書き込む。

① ① ことばを かきましよう。  
 ② ② どんなことばですか。  
 ③ そのことばを なにに きますか。  
 わかざりが できました。

① ① ことばを かきましよう。  
 ② ② どんなことばですか。  
 ③ そのことばを なにに きますか。  
 あきまつりの はたが できました。

- 5 自分で学習道具の説明を書く。

- ① 学習道具の挿絵をはる。  
 ② 学習道具の名称となにをするのかを書く。  
 ③ 書いたことをもとに、友達に話す。

これは、のりです。  
 のりで、かみを はります。  
 わかざり

これは、べんです。  
 マジックで じを かきます。  
 マジックで じを か

読みのめあてにそって読みすすめる段階

これは、はさみです。  
はさみで かみま すります。  
いろいろなかたちの  
かざりができました。





これは、はさみ  
はさみで  
いろいろ

はさみ

これは、はすです。  
はすで いろいろ ぬります。  
いものえができました。







これは、はすで  
はすで いろいろ  
いもの

はす



はさみを ならべましよう。  
ことばの えき をんで つなましよう。  
はさみ

はさみを ならべましよう。  
ことばの えき をんで つなましよう。  
はす



○ ことばを かましよう。  
① どんなふうですか。  
② そのぶんを なにきしますか。  
いろいろなかたちの かざりが できました。



○ ことばを かましよう。  
① どんなふうですか。  
② そのぶんを なにきしますか。  
いものえが できました。

これは、  
はさみです。  
はさみでか  
みをさしま  
す。

これは、  
はすです。  
はすでいろ  
をぬります。



読んだことを生活に生かしていく段階（7/7）

ねらい  
絵の具とテープについて、学習道具の名称とその道具で何をして  
いるのかを、自分なりに説明する。

- 1 音読する。
- ① 範読を聞く。
- ② 範読にそって読  
む。
- ③ 一斉読みをする。
- ④ 紹介することを強  
調して読む。

ほかにも いろいろあるな  
どうぐで かざりき  
つくっています。  
えのぐや てえぶが  
あります。  
その どうぐで なにを  
するの か しようかいしましょう。



- 2 文カードで全文を  
構成する。  
文を読みながら、文カ  
ードをさがし、文カ  
ードを読む。

ぶんを ならべましよう。  
ことばと えを せんで つなぎましよう。  
しようかいましよう。

ほかにも い  
えのぐや て  
その どうぐ

- 3 一文ずつ読む。
- ① 文と挿絵をつな  
ぐ。
- ② 紹介することに線  
をひく。

ぶんを ならべましよう。  
ことばと えを せんで つなぎましよう。  
しようかいましよう。

- 4 教材文に道具の名称  
と何をするのかを書  
く。
  - ① 挿絵に道具の名称  
を書く。
  - ② 何をするのかを、  
場面絵をもとに書  
く。
- ※ 書くことを繰り返し返  
し音声化させて書  
かせる。


えのぐ  
ほかにも いろいろあるな  
どうぐで かざりま  
つくっています。  
えのぐや てえぶが  
あります。  
その どうぐで なにを  
するの か しようかいましよう。

てえぶ  
えのぐで  
いろをぬり  
ます。

かざりをは  
ります。

- 5 紹介カードを書く。
- ① 学習道具と使っ  
ている時の挿絵をは  
る。
- ② 学習道具の名称と  
どんな時に使うかを  
書く。
- ③ 書いたことをもと  
に、友達に説明す

これは、え  
のぐです。え  
のぐでいろを  
ぬります。お  
みこしのやね  
ができました。



「やさしいサラダのつくりかた」学習計画（「ホットケーキ」も同じ）

全文を読んで段落構成をつかむ段階（1/7）

ねらい  
全文を読み、段落の名前をつけ、段落構成をつかむ。各段落を並べ、学習計画をつくり、学習の流れをつかむ。

- 1 音読する。
  - ① 語句で区切った範読に続けて読む。
  - ② 文で区切った範読に続けて読む。
  - ③ 一斉読みをする。
  - ④ 全員で一文ずつつなぎながら読む。

やさしいサラダのつくりかた

材料

① 玉ねぎ ② 人参 ③ 豆腐 ④ しょうゆ ⑤ 酢 ⑥ 油

① 玉ねぎを切る。

② 人参を切る。

③ 豆腐を切る。

④ しょうゆ、酢、油を混ぜる。

⑤ ①②③を④と混ぜる。

⑥ 完成。

- 2 視写をする。  
教材文を手がかりにワークシート上の文を読みながら、□にことばを書き込む。
- 3 ことばと絵をつなぐ。  
□のことばと挿絵をつなぐ。

材料

① 玉ねぎ ② 人参 ③ 豆腐 ④ しょうゆ ⑤ 酢 ⑥ 油

① 玉ねぎを切る。

② 人参を切る。

③ 豆腐を切る。

④ しょうゆ、酢、油を混ぜる。

⑤ ①②③を④と混ぜる。

⑥ 完成。

- 4 学習計画表に場面を順にはり、小見出しをつける。  
① 段落全体を表すことばを抜き書きし、名前をつける。  
② 学習計画表をはり、学習することを確認する。

はじめ

材料

① 玉ねぎ ② 人参 ③ 豆腐 ④ しょうゆ ⑤ 酢 ⑥ 油

① 玉ねぎを切る。

② 人参を切る。

③ 豆腐を切る。

④ しょうゆ、酢、油を混ぜる。

⑤ ①②③を④と混ぜる。

⑥ 完成。

読みのめあてをつかむ段階（2/7）

ねらい

「どんなさいりやどうぐをじゅんびするのでしよう。」「どのようにつくるでしよう。」の2つの問いの文に着目して、読みのめあてをもつ。

- 1 問いを確認し、音読する。
- ① 範読にそって読む。
- ② 一斉読みをする。
- ③ 問いの文を強調して読む。



おいしそうな  
「やさいサラダ」です。  
どんな さいりや  
どうぐを じゅんびする  
のでしようか。  
どのようにつ  
くるのでしようか。

- 2 文カードで全文を構成する。  
本カードを読みながら、教材文の通りに並べる。

おいしそうな「やさい  
どんな さいりや  
じゅんびするのでし  
どのようにつくる

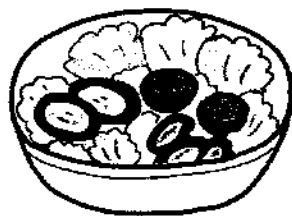
やさいサラダ

- 3 一文ずつ読む。

- ① 文と挿絵をつなぐ。
- ② たずねている文に線を引く。

やさいサラダ

- 4 問いの文を抜き書きする。  
教材文とワークシートの文を読みながら、□にことばを書き込む。



おいしそうな  
「やさいサラダ」です。

- 5 問いを書き、答えの書いてある段落を確認する。

- ① 問いに線を引いて、2つの問いを書く。
- ② 学習計画表で問い①②に対する答えの書いてある部分を確認する。

よみのめあて

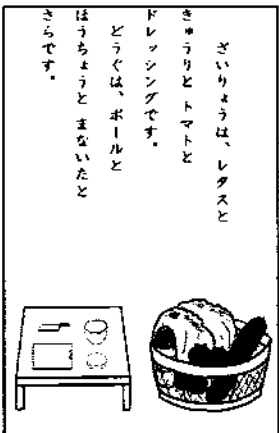
問いの

ことば


読みのめあてにそって読みすすめる段階（3/7）

ねらい  
問いの①に対する答えの文に着目して答えをまとめ、野菜サラダの材料と道具を自分なりに説明する。

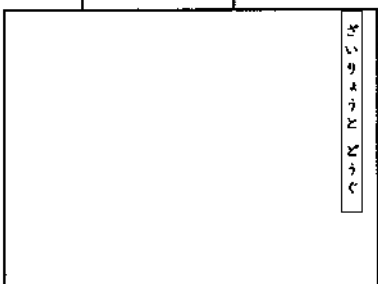
- 1 答えを確認し、音読する。
- ① 範読にそって読む。
- ② 一斉読みをする。
- ③ 答えの文を強調して読む。



- 2 文カードで全文を構成する。文カードを読みながら、教材文の通りに並べる。

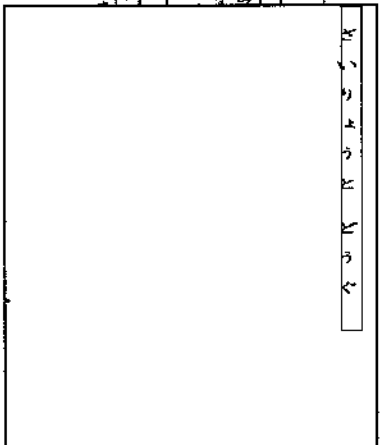
さいりょうは、レタスと きゅうりと トマトと ドレッシングです。

どうぐは、ボールと ほうちょうと まないたと きらです。

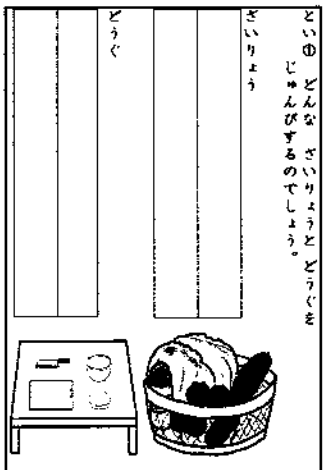


- 3 一文ずつ読む。
- ① 文と挿絵をつなぐ。
- ② 答えの文に線をひく。

さいりょうは、レタスと きゅうりと トマトと ドレッシングです。 どうぐは、ボールと ほうちょうと まないたと きらです。

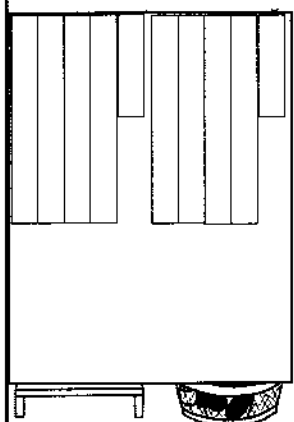


- 4 答えの文を抜き書きする。教材文とワークシートの文を読みながら、□にことばを書き込む。



- 5 自分で材料と道具の説明を書く。
- ① 材料と道具の挿絵をはる。
- ② 材料と道具の説明を書く。
- ③ 書いたことをもとに、友達に説明する。

さいりょうは、レタスと きゅうりと トマトと ドレッシングです。 どうぐは、ボールと ほうちょうと きらです。



読みのめあてにそって読みすすめる段階（4〜5/7）

ねらい  
問いの②に対する答えの文に着目して答えをまとめ、野菜サラダの作り方を自分なりに説明する。

- 1 答えを確認し、音読する。
- ① 範読にそって読む。
- ② 一斉読みをする。
- ③ 答えの文を強調して読む。

「はじめに、やさしいをあらいます。…」  
「つぎに、やさしいをさります。…」  
「さいごに、もりつけます。」



「はじめに、やさしいをあらいます。…」  
「つぎに、やさしいをさります。…」  
「さいごに、もりつけます。」

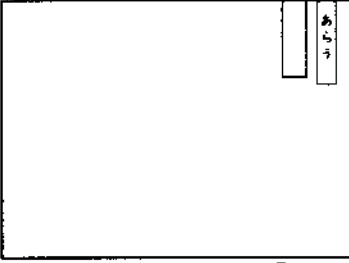


「はじめに、やさしいをあらいます。…」  
「つぎに、やさしいをさります。…」  
「さいごに、もりつけます。」

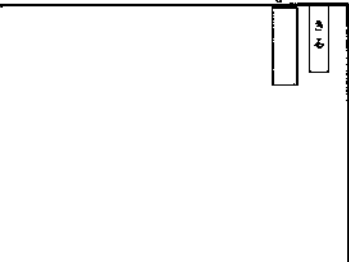


- 2 順序を表す言葉に着目し、書く。
- 教材文の順序を表す言葉の部分に線を引き、「はじめに」「つぎに」「さいごに」と、読み取りノートに書く。
- （読み取りノートは、「あらう」「さる」「もりつける」場面を3枚横につなげて提示する。）

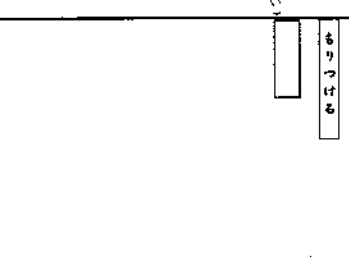
あらう



つぎ さる

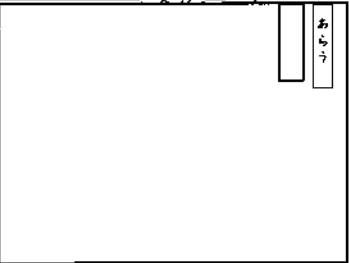


さいごに もりつける

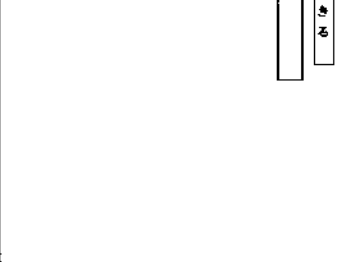


- 3 文カードで全文を構成し、一文ずつ読む。
- ① 文カードを読みながら、教材文の通りに並べる。
- ② 文と挿絵をつなぐ。
- ③ 答えの文に線をひく。

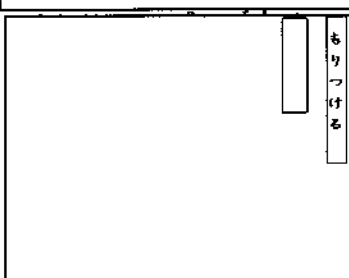
あらう



つぎ さる




さいごに もりつける




- 4 答えの文を抜き書きする。教材文とワークシートの文と読みながら、□にことばを書き込んで読む。
- （読み取りノートは、3枚横につなげて提示する。）

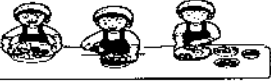
はじめに、やさしいをあらいます。…」



つぎに、やさしいをさります。…」

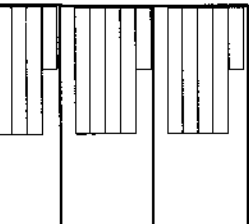


さいごに、もりつけます。」



- 5 自分で作り方の説明を書く。
- ① つくり方の挿絵を順にはく。
- ② つくり方の説明を書く。
- ③ 書いたことをもとに、友達に説明する。

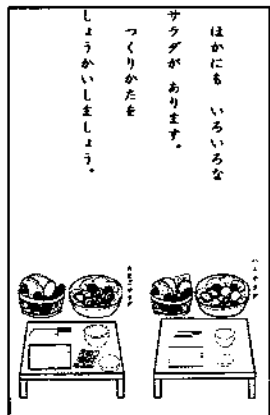
はじめに、やさしいをあらいます。…」  
「つぎに、やさしいをさります。…」  
「さいごに、もりつけます。」




読んだことを生活に生かしていく段階（6/7/7）

ねらい  
他のサラダ（ハムサラダ・たまごサラダ）について、材料と道具と作り方を自分なりに説明する。

- 1 音読する。  
① 範読にそって読む。  
② 一斉読みをする。  
③ 紹介することを強調して読む。



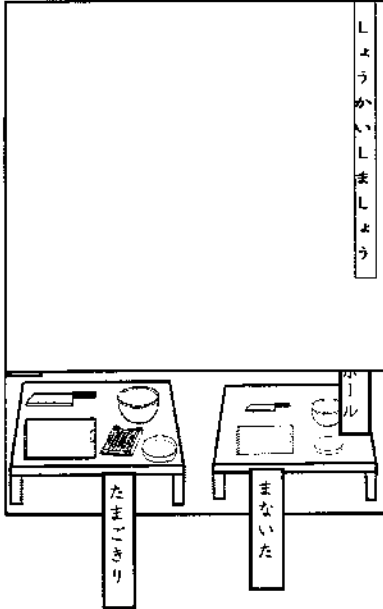
ほかにも いろいろな  
サラダがあります。  
つくりかたを  
しようかいましたよう。

- 2 文カードで全文を構成する。  
本文を読みながら、  
カードをさがし、  
カードを読む。

ほかにも いろいろな  
サラダが  
あります。  
つくりかたを

- 3 一文ずつ読む。  
① 文と挿絵をつなぐ。  
② 挿絵の材料と道具の名称を書く。

ほかにも いろいろな  
サラダが  
あります。  
つくりかたを  
しようかいましたよう



しようかいましたよう

- 4 ほかのサラダの作り方を紹介する。  
① 材料と道具の挿絵をはる。  
② 材料と道具の説明を書く。  
③ 作っている挿絵を並べてはる。  
④ 作り方を順に整理して書く。  
⑤ 書いたことをもとに、友達に説明する。

ハムサラダの作り方を紹介します。材料と道具を準備します。材料は...です。道具は...です。作り方は...はじめに...次に...

